

レファレンスコーナー

県立図書館に寄せられたレファレンスの事例を紹介します。

Q. コーヒーの起源に「山火事」が関係していると聞いたが、どう関係しているのか知りたい。また、ほかにどんな起源があるのか？

【回答】

百科事典等で「コーヒー」の項目を調べ、コーヒーの始まりには様々な説があることが分かりました。

～山羊飼いかルディの話～

エチオピアの修道院の庭で、コーヒーの実を食べた山羊が夜になっても興奮して騒いでいた。山羊飼いかルディがそのことを修道士に知らせたところ、修道士たちが夜に勤行する際の眠気覚ましとしてコーヒーの実を利用するようになった。

～イスラム教徒シェーク・オマールの話～

イエメンで、シェーク・オマールというイスラム教徒が山に追放され、飢えに苦しんでいた。美しい羽根の鳥を追いかけていくとコーヒーの木にたどり着き、その実を食べて元気になった。

～スラム律法学者ゲマレディンの話～

ゲマレディンは、エチオピアでコーヒーの薬効や覚醒作用を知り、イエメンのアデンのイスラム宗教界に広めた。

様々な参考文献に上記の内容が掲載されていましたが、山火事にまつわる話は見あたりませんでした。次に、コーヒーに関する資料を調べたところ、コーヒー豆の焙煎の始まりについて、「山火事によって焼けたコーヒーの果実から、よい匂いがしたのでそれを砕いて煮出して飲んだところ、大変おいしかった」という説の短い記述を確認しました。しかし、この説についての具体的な根拠や、詳しい内容は見つけられませんでした。

身近な飲み物の歴史を辿ってみると、いつもの一杯が違う味わいになるかもしれませんね。

キーワード：コーヒー 焙煎 山火事

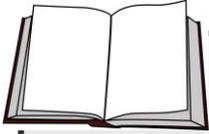
【調査プロセス】

1. 参考図書で、「コーヒー」について確認。山火事にまつわる内容は確認できなかった。
2. コーヒー関連の資料をブラウジング。山火事について、一部取り上げた記述を確認。

【参考文献】 ※（ ）内は当館請求記号

- 1 『日本大百科全書 9』小学館 1986年(R/031/ニ10/1-9)
- 2 『世界大百科事典 10』平凡社 2007年(R/031/セカ/10)
- 3 『ケンブリッジ世界の食物史大百科事典 3』朝倉書店 2005年(R/383.8/カン/3)
- 4 『世界食物百科』トウサン=サマ//著 玉村 豊男//監訳 原書房 1998年(R/383.8/トウ)
- 5 『世界たべもの起源事典』岡田 哲//編 東京堂出版 2005年(R/383.83/オカ)
- 6 『コーヒーの事典』日本コーヒー文化学会//編 柴田書店 2001年(R/619.89/コヒ)
- 7 『世界を変えた6つの飲み物』トム・スタンディング//著 新井 崇嗣//訳 インターシフト 2007年(383.8/スタ)
- 8 『珈琲の大事典』成美堂出版編集部//編 成美堂出版 2011年(596.7/コヒ)
- 9 『コーヒー学入門』広瀬 幸雄//著 圓尾 修三//著 星田 宏司//著 人間の科学新社 2007年(596.7/コヒ)





Q. 戦前のものと思われる盛岡駅の「すずらん娘」の写真を見かけた。
この「すずらん娘」について知りたい。

【回答】

『岩手百科事典』p. 411「スズラン娘」に、玉山村（現盛岡市）姫神山麓のスズランを売る「すずらん娘」のことが紹介されています。スズランは玉山村の村花で、姫神山麓もスズランの名所としてよく知られていました。そのスズランの花束を、6月初旬からおよそ2週間、盛岡駅のホームで売り、当時話題になっていたようです。しかし、『岩手百科事典』の記事では、始まったのは昭和36年頃かからとなっており、戦前のものというお問い合わせの写真とは年代が合いません。IBC岩手放送のYoutube公式チャンネルで公開されている「【いわてアーカイブの旅】第57回 すずらん娘」にも映像が収録されていますが、こちらも同じく昭和36年に始まったと説明されています。

玉山村や盛岡駅に関する資料や写真集も調べましたが、あまり有用な情報は得られませんでした。しかし、その後、当館で収集した写真資料の中に、「盛岡駅 鈴蘭売り」と題された写真を発見。写真に記された昭和12年6月収集という情報を手掛かりに、当時の新聞を調査したところ、昭和12年5月31日の『岩手日報』に、「新緑の魅惑に行楽の日曜足軽し 盛岡駅には鈴蘭娘御目見えす」という記事を見つけました。

“・・・尚盛岡駅名物の鈴蘭ガールはこの日午後から御目見えしたが素晴らしい人気で各列車毎に飛ぶやうな売れ行きを示し旅行者の心を慰めた。・・・”

上記は、姫神山麓好摩ヶ原のスズランを売る「すずらん娘」の記事です。昭和12年であれば、お問い合わせの写真とも年代が合います。

こちらの「すずらん娘」は、いつ頃から始まったのでしょうか。5月下旬から6月初旬の『岩手日報』を溯って確認しました。残念ながら、いつ始まったのか明確な情報は得られませんでした。が、「すずらん娘」の記事は昭和5年頃から見られました。

昭和30～40年代に話題になった「すずらん娘」。しかし、姫神山麓のスズランとそれを売る「すずらん娘」は、昭和初期にも盛岡駅を訪れる人々を楽しませていたようです。

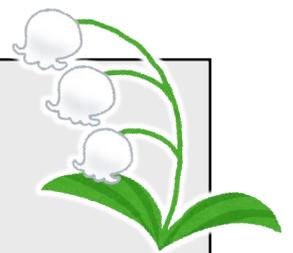
キーワード： すずらん 盛岡駅 姫神山 好摩ヶ原

【調査プロセス】

1. 『岩手百科事典』を確認
2. 昭和期の盛岡市・旧玉山村に関する資料を確認
3. 盛岡駅に関する資料を確認
4. 岩手県立図書館収集の写真資料索引を確認 ⇒ 昭和12年6月収集「盛岡駅 鈴蘭売り」
5. 昭和12年6月の「岩手日報」を確認
6. 昭和12年から溯って「岩手日報」を確認

【参考文献】 ※()内は当館請求記号

- 1 『岩手百科事典』岩手放送 1978年(915.5/マツ)
- 2 『写真資料索引』岩手県立図書館参考調査係
- 3 『岩手日報』マイクロフィルム
4. IBC岩手放送 Youtube公式チャンネル「【いわてアーカイブの旅】第57回 すずらん娘」
<https://www.youtube.com/watch?v=gkx-V5B3buU> (※最終確認：平成29年2月13日)



※このレファレンスの詳細は「レファレンス協同データベース」で公開しています。是非ご覧ください。
「レファレンス協同データベース」 <http://crd.ndl.go.jp/jp/public/>